

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 29 日	点検日	平成 年 月 日			
事務事業名	両宮排水路整備事業			区分コード	6						
担当課G等	建設部	土木課	建設G	記入者氏名	出野 里米香						
総合計画体系	施策の大綱(政策名)		2 安全で快適な住みよいまちづくり		実施計画対象事業						
	施策名		1 災害に強い環境を整える								
	基本事業名		1 災害の未然防止								
予算科目	会計	一般	款	7	項	2	目	2 両宮排水路整備事業	事業名	法令根拠	
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度		(H21 年度 ~ H30 年度)				
事業概要											
[全体概要]						[業務内容]					
両宮排水路(菅谷～田彦)総延長約3,816mのうち未整備区間(3,216m)を整備し安定した排水処理と、冠水被害を抑制し安心安全な街づくりをすすめる。						事業計画及び詳細設計 地権者交渉 工事費積算及び監督					
1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移											
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)				
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			対象指標(対象の大きさを表す指標)								
冠水の影響がある宅地			隣接する宅地数	筆	54	54	54	54	54		
冠水の影響がある農地			隣接する農地数	筆	284	284	284	284	284		
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)			活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
24年度実績			排水路整備延長	m	280	683	640	250	300		
上流部の改修工事 L=143m											
中間部の改修工事 L=540m											
25年度計画											
上流部の改修工事 L=420m											
下流部の改修工事 L=220m											
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			成果指標(対象における意図された対象の程度)								
冠水被害の抑制			整備率	%	18	29	49	57	66		
(2) 投入量の推移											
事業内訳	財源	国庫支出金	千円		89,300	521,850				213,000	
	事業費	県支出金	千円								
		地方債	千円	151,800	233,000	241,100	82,000	90,200	1,539,610		
		その他	千円								
		一般財源	千円	20,300	12,780	17,700	4,500	5,000	861,598		
事業費計(A)			千円	172,100	335,080	780,650	86,500	95,200	2,614,208		
人件費	正規職員	千円	7,200	0.6人	8,400	0.6人	8,400	0.6人	8,400	0.6人	5.7人
	正規外職員	千円									
	人件費計(B)			千円	7,200	8,400	8,400	8,400	8,400	76,800	
投入量(A)+(B)			千円	179,300	343,480	789,050	94,900	103,600	2,691,008		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
この事務事業を開始したきっかけは何か?			降雨による冠水被害が発生するため、冠水被害を抑制するため整備に着手した。								
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?			那珂市ではないが、全国的に冠水被害が発生した場合、整備の遅れによる管理責任を問われ、賠償問題に発展する案件が増えている。								
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?			隣接する住民からは、整備の早期完成の要望がある。								

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価)：(取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民の安全と生命、財産を守るのは市の責務である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなんですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業を推進することにより必要な成果を上げられる。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく、廃止または休止することは被害を拡大させることになる。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 現場状況に合った工法でもあり、事業の抑制は困難である。事業内容を見れば、人員が少ないくらいなため削減の余地はない。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 不特定多数の市民が被災者になり得るため、受益者負担の事業ではない。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)																								
改革・改善による期待成果 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合																							
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 29 日	点検日	平成 年 月 日							
事務事業名	河川維持事業(市街地調整池管理)			区分コード	4										
担当課G等	建設部	土木課	建設G	記入者氏名	出野 里米香										
総合計画体系	施策の大綱(政策名)		2!安全で快適な住みよいまちづくり		実施計画 対象事業										
	施策名		1!災害に強い環境を整える												
	基本事業名		2!災害の未然防止												
予算科目	会計	一般	款	7	項	2	目	2	事業名	市街地調整池管理事業	法令根拠				
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度		(開始年度 H19 年度 ~)		(年度 ~ 年度)						
事業概要															
[全体概要]						[業務内容]									
両宮排水路及び調整池施設の維持管理を行い浸水等の被害を防ぐ。						維持管理業務 ポンプ施設の点検 除草、清掃 修繕									
[調整池]															
一ノ関(福田) みの内(菅谷) 太想次(菅谷) 竹ノ内(竹ノ内) 平野台(平野)															
1 現状把握の部(DOシート)															
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移															
										単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				対象指標(対象の大きさを表す指標)											
排水路及び調整池				点検箇所数	箇所	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)				活動指標(事務事業の活動量を表す指標)											
24年度実績 ・排水路、調整池の維持管理(ポンプの点検、除草、清掃等) ・施設の修繕等				点検回数	回	30	30	30	30	30	30	30	30		
25年度計画 ・排水路、調整池の維持管理(ポンプの点検、除草、清掃等) ・ネットフェンスの補修															
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				成果指標(対象における意図された対象の程度)											
調整池機能を維持し浸水被害を防ぐ				浸水件数	件	6	6	6	5	5	5	5	5		
				災害件数	件	1	0	0	0	0	0	0			
(2) 投入量の推移															
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	全体計画						
	地方債	千円													
	その他	千円													
	一般財源	千円	1,234	1,143	1,865	1,500	1,500								
	事業費計(A)	千円	1,234	1,143	1,865	1,500	1,500	0							
人件費	正規職員	千円	600	0.05人	600	0.05人	600	0.05人	600	0.05人	600	0.05人			
	正規外職員	千円													
	人件費計(B)	千円	600	600	600	600	600	0							
投入量(A)+(B)		千円	1,834	1,743	2,465	2,100	2,100	0							
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等															
この事務事業を開始したきっかけは何か?				排水路の整備や区画整理等の事業により調整池が建設されたため。											
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?				那珂市では発生していないが、全国的には転落事故等が発生した場合に管理責任が問われ、賠償件数が増えている。											
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?				安全な調整池機能の維持管理が要望されている。											

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 災害から市民の生命、財産を守ることは市の責務である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由は何ですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 現在は調整機能を維持し、安定した排水を行っているためこれ以上の向上の余地はない。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 調整機能に支障をきたし安定した排水が出来ず、事故等の危険が増す。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 定期点検を月1回程度、降雨時点検を適時に実施しており、管理上時間の削減、また、担当者2名で点検をするため、人件費削減は困難である。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 不特定多数の市民が被災者になる得るため、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)																								
改革・改善による期待成果 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合																							
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入)																								
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 31 日	点検日	平成 年 月 日
事務事業名	道路維持補修事業(市道維持補修)			区分コード	6			
担当課G等	建設部	土木課	維持管理G	記入者氏名	川崎 慶樹			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	2 安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業			
	施策名	6 利便性の高い交通基盤を整える						
	基本事業名	3 市道の適正な維持と管理						
予算科目	会計	一般	款 7 項 1 目 2	事業名	法令根拠	道路法第16条、第42条他		
事業期間	単年度のみ		単年度繰返 (開始年度 不明 年度 ~)		期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)			
事業概要								
[全体概要] 道路の維持補修 道路の補修及び清掃・除草を行う。				[業務内容] 舗装補修、清掃、除草等を行う。				
1 現状把握の部(DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市道		対象指標(対象の大きさを表す指標)						
		市道認定延長	m	1,149,973	1,150,240	1,150,240	1,150,240	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順) 24年度実績 ・道路舗装補修(簡易な補修を含む) ・道路清掃、除草 25年度計画 同上		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
		補修実施件数	件	270	301	301	301	
		除草面積	m ²	118,000	247,800	247,800	247,800	
		清掃延長	m	630	500	500	500	
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) ・道路機能を維持し利用者が安全に通行できるようにする。		成果指標(対象における意図された対象の程度)						
		補修実施率 = 実施件数 / 要望件数	%	90.0	95.0	95.0	95.0	
(2) 投入量の推移								
事業内 財源 費	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	28,150	132,562	132,562	132,562	132,562	
事業費計(A)		千円	28,150	132,562	132,562	132,562	132,562	
人件費	正規職員	千円	13,446	12,699	12,699	12,699	12,699	
	正規外職員	千円	9,761	9,761	9,761	9,761	9,761	
	人件費計(B)	千円	23,207	22,460	22,460	22,460	22,460	
投入量(A)+(B)		千円	51,357	155,022	155,022	155,022	155,022	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
この事務事業を開始したきっかけは何か?		市道の管理が始まった段階から行なっている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		道路の老朽化が進行している。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		道路を利用する人から、早急に補修するよう要望がある。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 住民の共有財産であるため、行政が維持管理を行う。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由は何ですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない 補修要望箇所が多いが、現予算の中で、優先順位を決め対応しているため向上の余地はない。 <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック)
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない 廃止・休止の可能性がない 類似事業はない。良好な道路環境を維持するため、廃止・休止はできない。 <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック)
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない 人件費の削減余地がない 良好な道路環境の維持が困難となるため、事業費の削減余地はない。 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック)
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 道路は不特定多数の人が利用するため市が負担するのは適当である。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入)																						
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 31 日	点検日	平成 年 月 日
事務事業名	道路維持補修事業(建設資機材管理)			区分コード	4			
担当課G等	建設部	土木課	維持管理G	記入者氏名	川崎 慶樹			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)		2 安全で快適な住みよいまちづくり		実施計画 対象事業			
	施策名		6 利便性の高い交通基盤を整える					
	基本事業名		3 市道の適正な維持と管理					
予算科目	会計	一般	款 7 項 1 目 2	事業名	法令根拠	道路運送車両法第47条		
事業期間	単年度のみ		単年度繰返 (開始年度 不明 年度 ~)		期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)			
事業概要								
[全体概要] 道路の維持補修のため、早急に対応できるよう建設資機材の整備を図る。				[業務内容] 砕石・舗装用合材・融雪材の購入、重機のレンタル、トラックの維持管理				
1 現状把握の部(DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・建設資機材		対象指標(対象の大きさを表す指標)						
		主要建設資機材種類数	種類	6	6	6	6	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順) 24年度実績 ・建設資機材の購入及びレンタル ・建設車両の整備 25年度計画 同上		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
		建設車両所有台数	台	5	5	5	5	
		砕石購入量	m ³	1,000	800	1,000	1,000	
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) ・住民及び警察等の道路維持補修要望に迅速に対応できる。		成果指標(対象における意図された対象の程度)						
		資機材提供件数	件	148	305	500	500	
		資機材要望対応率	%	97.9	98.0	98.0	98.0	
(2) 投入量の推移								
事業内 財源内 財源	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	9,675	9,837	9,837	9,837	9,837	
事業費計(A)		千円	9,675	9,837	9,837	9,837	9,837	
人件費	正規職員	千円	1,080	1,020	1,020	1,020	1,020	
	正規外職員	千円	784	672	672	672	672	
	人件費計(B)	千円	1,864	1,692	1,692	1,692	1,692	
投入量(A)+(B)		千円	11,539	11,529	11,529	11,529	11,529	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
この事務事業を開始したきっかけは何か?		増加する道路補修作業に敏速に対応するため、道路の整備が始まったときから開始された。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		道路補修箇所が年々増加しているため、管理する建設資材は増加傾向にある。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		迅速な対応が望まれる。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価)：(取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なのですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由はなぜですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 住民の共通財産であるため、行政が維持管理を行う。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなぜですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 補修要望箇所は、合併により増え、今後、さらに増加する傾向である。補修要望箇所は、年々多くなり限りある財源の範囲で行わざるを得ない。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？ 事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業なく、現状から道路補修に迅速に対応が出来なくなり、安心して安全な道路環境の維持が困難となるため、廃止・休止はできない。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？ 成果を下げずに所要時間を削減できませんか？ 成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 年々建設資機材の管理が増加する傾向であるが、その管理に当たる人員は最小限であっているため人件費削減の余地はない。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 不特定多数の人が利用する市道の維持管理するための建設資機材管理であり、受益者負担を求めるものではない。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)																								
改革・改善による期待成果 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合																							
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入)																								
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 31 日	点検日	平成 年 月 日
事務事業名	交通安全施設整備事業			区分コード	6			
担当課G等	建設部	土木課	維持管理G	記入者氏名	川崎 慶樹			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)		2 安全で快適な住みよいまちづくり		実施計画 対象事業			
	施策名		3 安全な交通環境を整える					
	基本事業名		2 交通安全環境の整備充実					
予算科目	会計	一般	款 7 項 1 目 2	事業名	交通安全施設整備事業		法令根拠	
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度			
		(開始年度 不明 年度 ~)		(年度 ~ 年度)				
事業概要								
[全体概要]				[業務内容]				
交通安全施設の整備 ・道路における円滑な交通を維持し安心安全な交通環境を確保する。				ガードレール、警戒標識、カーブミラー、交差点照明灯などを設置するするための設計、積算及び監督。				
1 現状把握の部(DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市道		市道認定延長	m	1,149,973	1,150,240	1,150,240	1,150,240	1,150,240
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
24年度実績 ・ガードレール、警戒標識、カーブミラー、区画線、交差点照明等の設置		整備実施件数	件	19	14	20	20	20
25年度計画 同上								
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・市道における交通の安全を図る		整備率 = 実施件数 / 要望件数	%	95	95	95	95	95
		交通事故件数	件	400	396	396	396	396
(2) 投入量の推移								
事業内 財源 費	国庫支出金	千円						
	県支支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	11,770	11,842	11,842	11,842	11,842	
事業費計(A)		千円	11,770	11,842	11,842	11,842	11,842	0
人件費	正規職員	千円	1,620	1,530	1,530	1,530	1,530	人
	正規外職員	千円	1,176	1,182	1,182	1,182	1,182	人
	人件費計(B)	千円	2,796	2,712	2,712	2,712	2,712	0
投入量(A)+(B)		千円	14,566	14,554	14,554	14,554	14,554	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
この事務事業を開始したきっかけは何か?		市道の管理が始まった段階から行っている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		市道が拡幅改良及び舗装され交通量が増加している。安全に対する住民意識の向上。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		学校から通学路の安全施設設置の要望が特に多い。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なのですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 市道の管理に付帯する交通安全施設の整備は、行政が行わなければならない。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなんですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない 管理する範囲は決まっている。 <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック)
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない 廃止・休止の可能性がない 類似事業がなく、市道路の安全を確保するためには、休止・廃止はできない。 <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック)
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない 人件費の削減余地がない 安全施設の要望が多々あり、すべて対応するには財源が必要となるため、事業費の削減余地はない。また、直営での対応もっており、人件費の削減余地はない。 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック)
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 道路の安全施設は、不特定多数の住民が受益する施設であるので財源配分は公平である。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																										
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)		改革・改善による期待成果																								
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																										
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入)																										
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																										

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 29 日	点検日	平成 年 月 日	
事務事業名	道路改良舗装事業			区分コード	6				
担当課G等	建設部	土木課	建設G	記入者氏名	飯田 健一				
総合計画体系	施策の大綱(政策名)		2 安全で快適な住みよいまちづくり		実施計画 対象事業				
	施策名		6 利便性の高い交通基盤を整える						
	基本事業名		12 幹線道路の整備、生活道路の整備						
予算科目	会計	一般	款 7 項 1 目 3	事業名	法令根拠	道路法			
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度				
		(開始年度 15 年度 ~)		(年度 ~ 年度)					
事業概要									
[全体概要] 市道に認定してある道路を対象に自動車や自転車及び歩行者が安心して移動できるような車道や歩道の整備を行う。				[業務内容] ・事業計画及び詳細設計 ・事業説明会、境界立会い等の実施 ・地権者交渉 ・工事費積算及び監督					
1 現状把握の部 (DOシート)									
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移									
		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (計画)	27年度 (計画)		
対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等整備の必要性がある市道		対象指標 (対象の大きさを表す指標)							
		計画延長	m	2,254	3,805	2,060	2,335	2,400	
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順) 24年度実績 関係地権者への通知・説明会の実施・同意確認・測量設計・用地取得・工事実施		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)							
25年度計画 事業実施計画に基づく予算の確保・関係地権者への通知・説明会の実施・同意確認・測量設計・用地取得・工事実施		改良舗装等工事発注件数	件	5	14	10	12	12	
意図する成果 (この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 市道について、地域からの要望に対応した整備を行う (拡幅、舗装、歩道整備)		成果指標 (対象における意図された対象の程度)							
		道路改良率	%	22.20	22.53	22.71	22.91	23.05	
(2) 投入量の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	全体計画	
事業内 財源 費	国庫支出金	千円	8,637	13,800	25,200				
	県支出金	千円							
	地方債	千円	53,700	114,300	88,500	160,400	157,600		
	その他	千円							
	一般財源	千円	67,706	82,556	115,570	229,364	183,910		
事業費計 (A)		千円	130,043	210,656	229,270	389,764	341,510	0	
人件 費	正規職員	千円	21,150	5人	23,450	5人	23,450	5人	人
	正規外職員	千円							人
	人件費計 (B)	千円	21,150	23,450	23,450	23,450	23,450	23,450	0
投入量 (A) + (B)		千円	151,193	234,106	252,720	413,214	364,960	0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
この事務事業を開始したきっかけは何か?		・市の事業実施計画や地元からの要望による。							
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		・市道でも、計画道路、整備基準道路、狭あい道路等の整備グレードのランク分けをした分、地域の要望と同時に行政側としての「みちづくり」のビジョンが求められている。また、要望の優先順位の付け方についての厳格性が求められるようになった。							
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		・市民が必要としている路線の早期実施、早期完了及び市民が納得できる整備路線の選定の要望がある。							

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 工事、委託の見直しをしたが、用地の買戻し等があり、予算に反映できなかった。	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由はなんですか？	妥当である 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 道路は不特定多数の人が利用するので、利用者の利便性と安全性向上のためには行政が整備を行うべきである。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなんですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	余地がない 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 整備率を向上させるためには、行政のみならず関係地権者の理解と協力が不可欠であり、今後はこれらが益々事業進捗の上で重要なポイントになる。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	統廃合の余地がない 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 廃止・休止の可能性がない 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 農道整備事業との統合などが可能性として考えられるが、所管事業省庁との協議を要するため、現時点での実行は難しい。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	事業費の削減余地がない 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 人件費の削減余地がない 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 生活道路としては最小必要限の工事内容で行っているため、事業費を削減すれば1路線の完了年が遅れるため事業費の削減は極めて難しいが、人件費においては、地籍調査事業を早期に完了すれば用地境界確認や登記に費やす時間が削減でき人件費等の削減が可能である。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	適正である 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 不特定多数の市民が利用するため、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) ・道路を整備するメリット、デメリットを考慮して、地域と調整しながら整備する必要がある。 ・地籍調査を早急に完了できれば境界確認に係る委託費や用地買収に係る人件費を大幅に削減できる。																								
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性 (改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方 (1次評価と同じの場合も記入) ・道路を整備するメリット、デメリットを考慮して、自治会と連携調整を図りながら整備を進めていく。 ・地籍調査については、今後も積極的に推進していくが、多額の費用と年数を要するため早期に完了は難しい。完了した地区においての委託費等は、削減できる。																								
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 31 日	点検日	平成 年 月 日		
事務事業名	両宮遊歩道管理事業			区分コード	4					
担当課G等	建設部	土木課	維持管理グループ	記入者氏名	川崎 慶樹					
総合計画体系	施策の大綱(政策名)		2:安全で快適な住みよいまちづくり		実施計画 対象事業					
	施策名		8:魅力ある市街地の形成を図る							
	基本事業名		2:公園の整備と適正管理							
予算科目	会計	一般	款	7	項	1	目	2:両宮遊歩道管理事業	法令根拠	
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度					
		(開始年度 H10 年度 ~)		(年度 ~ 年度)						
事業概要										
[全体概要]				[業務内容]						
両宮遊歩道の維持管理を行う。				委託契約事務、軽微な補修業務、要望等の対応						
1 現状把握の部 (DOシート)										
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移										
		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (計画)	27年度 (計画)			
対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)								
市民		人口	人	55,959	56025	56025	56025	56025		
両宮遊歩道		延長	m	500	500	500	500	500		
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順)		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)								
24年度実績 遊歩道の清掃、除草及び樹木選定を実施した。		清掃・除草回数	回	200	200	200	200	200		
25年度計画 同上		剪定・消毒回数	回	1	1	1	1	1		
意図する成果 (この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		成果指標 (対象における意図された対象の程度)								
安全な公共緑地として確保する。		苦情件数	件	1	1	1	1	1		
		宅地化率	%	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8		
(2) 投入量の推移										
事業内 財源内 財源	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	2,259	2,365	2,365	2,365	2,365	2,365		
事業費計 (A)		千円	2,259	2,365	2,365	2,365	2,365	2,365		
人件費	正規職員	千円	305	510	510	510	510	510		
	正規外職員	千円								
	人件費計 (B)	千円	305	510	510	510	510	510		
投入量 (A)+(B)		千円	2,564	2,875	2,875	2,875	2,875	2,875		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
この事務事業を開始したきっかけは何か?		水路を暗渠化し、災害時の緊急避難路、緊急車両の進入ルートにするなど上部を遊歩道として活用。								
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		特になし								
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		特になし								

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 管理の一元化については組織見直しの中で検討し、ボランティアについても通年で継続して受けもらえる組織がないことから、現状維持とした。	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 憩いのある市民生活の向上を考慮すると、市が事業を継続することが必要である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があったとした理由はなんですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 遊歩道の植栽に来る蜂などの虫や、落葉などの苦情があるが、今以上の清掃を行うことは難しく、これ以上の成果を向上させる余地はない。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 遊歩道の清掃・除草等こまめな管理が難しい。また、廃止や休止した場合、遊歩道が荒廃し、環境・防犯上良くない。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) シルバー人材センターに委託して、維持管理費の削減を図っているが、年度により、剪定や修繕費の変動がある。事業費を削減した場合、清掃や除草等のこまめな管理が難しい。ボランティアによる活動はあるが現状では難しい。また、人件費の削減は、最小限必要な確認作業を行っているため、削減の余地はない。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 誰でも利用出来る遊歩道であり、受益者負担を求めるものでない。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																										
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的な内容 (改革案・実行計画)		改革・改善による期待成果																								
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性 (改革・改善策)) 担当部長が記載																										
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方 (1次評価と同じの場合も記入)																										
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																										

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート				作成日	平成 25 年 5 月 23 日	点検日	平成 年 月 日						
事務事業名	地籍調査事業				区分コード	12									
担当課等	建設部	土木課	用地室用地グループ		記入者氏名	疋田 克彦									
総合計画体系	施策の大綱(政策名)				2 安全で快適な住みよいまちづくり										
	施策名				7 調和の取れた土地利用を図る										
	基本事業名				1 土地利用の適正化										
予算科目	会計	一般	款	5	項	1	目	6	事業名	戸多地区地籍調査事業・木崎地区地籍調査事業	法令根拠	国土調査法、国土調査法施行令			
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度		(開始年度 年度 ~) (H13 年度 ~ H29 年度)								
事業概要 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>[全体概要] 当市では、昭和30～40年代にかけて地籍調査を実施しているが、航測法や図解法による測量であったため、現在の地図は調査後40数年以上も経過したもので、公図と現地が不整合な箇所が多く見られ、登記事務等に支障をきたしている状況であり、再度地籍調査を行うものである。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>[業務内容] ・事業の計画・設計・説明会 ・境界立会(長狭・一筆地) ・認証請求 ・地籍調査成果の販売</p> </div> </div>															
1 現状把握の部(DOシート)															
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移															
										単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 地籍調査区域内の土地				対象指標(対象の大きさを表す指標)											
				地籍調査の対象面積	km ²	-	75.54	75.54	75.54	75.54					
手段(具体的な事務事業のやり方、手順) 24年度実績 下江戸()地区・門部()地区面積測定・図面作成 下江戸()地区・北酒出()地区長狭物調査 一筆地調査 境界測量				活動指標(事務事業の活動量を表す指標)											
				地籍調査区域内の土地の面積	km ²	-	1.44	1.59	1.01	0.53					
25年度計画 下江戸()地区・北酒出()閲覧 成果確定 下江戸()地区・北酒出()地区長狭物調査 一筆地調査 境界測量 閲覧 成果確定															
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 地番、地目、面積、所有者の住所、氏名を明確にする。										成果指標(対象における意図された対象の程度)					
				完了率(完了地区面積÷対象地区面積)	%	-	1.91	2.10	1.34	0.70					
				トータル完了率	%	-	36.6	38.7	40.0	40.7					
(2) 投入量の推移															
事業内訳	財源内訳	国庫支出金	千円												
		県支支出金	千円											117,000	
		地方債	千円												
		その他	千円		75	345	370	370	370	370				3,030	
		一般財源	千円		1,848	60,321	60,221	65,138	65,138	65,138				555,050	
	事業費計(A)	千円		1,923	60,666	60,591	65,508	65,508	65,508				675,080		
人件費	正規職員	千円	550	0.1人	12,700	2.2人	12,300	2.6人	12,300	2.2人	12,300	2人			
	正規外職員	千円	2,412	1.0人	4,824	2.0人	4,824	2.0人	4,824	2.0人	4,824	2.0人			
	人件費計(B)	千円		2,962	17,524	17,124	17,124	17,124	17,124				0		
投入量(A)+(B)		千円		4,885	78,190	77,715	82,632	82,632	82,632				675,080		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等															
この事務事業を開始したきっかけは何か?		法務局備え付け地図と現地とに不整合が多数生じており、登記事務に支障をきたしているため。													
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		当事業は、平成4年度より芳野・戸崎・飯田及び額田南郷向山の一部を完了し、平成13年度より戸多地区、平成19年度より木崎地区の2地区の調査を実施中である。既に完了している地区においては、登記がスムーズにできるようになり、土地分筆・合筆等、利活用に役立っている。以前は隣接地との境界が確定できず、登記不受理のため、家なども建てられないケースや道路の拡幅改良に伴う用地確定ができないケースがあった。													
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		現在調査中及び未調査地区からは、早期に調査してほしいとの要望が寄せられている。													

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 広報な5月号において、地籍調査事業の概要を掲載し、事業の周知を図った。	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由はなんですか？	公共関与の妥当性 妥当である 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 国土調査法第2条第3号の定義により、地方公共団体又は土地改良区がおこなう調査であるため。
有効性評価 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなんですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	成果の向上余地 余地がない 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 国土調査法、国土調査法施行令に基づく調査であるため。
類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	類似事業との統廃合余地 統廃合の余地がない 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 廃止・休止の可能性がない 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 境界確認という観点では、区画整理・土地改良・道路河川改良事業などが類似事業として挙げられるが、統合の可能性は少ない。ただし、成果管理の一元化により、各事業において相応のコスト削減が期待できる。に記載したとおり廃止・休止をすることはできない。
効率性評価 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	事業費や人件費の削減余地 事業費の削減余地がない 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 人件費の削減余地がない 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費や人件費を削減することは、現在の調査面積の減少や的確な地籍調査、調査成果の法務局への送り込み等の遂行に影響を及ぼすため、当市の地籍調査事業の進捗状況を考慮するとこれ以上の事業費や人件費の削減の余地はない。
公平性評価 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	受益者負担の適正余地 適正である 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 地籍調査は行政の責任において進めるべきものであり受益者負担は求められない。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的な内容 (改革案・実行計画) <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性 (改革・改善策)) 担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
担当部長としての意見・考え方 (1次評価と同じの場合も記入)																						
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 23 日	点検日	平成 年 月 日
事務事業名	道路用地取得事業			区分コード	12			
担当課等	建設部	土木課	用地室 用地G	記入者氏名	村山 知明			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)		2:安全で快適な住みよいまちづくり		実施計画 対象事業			
	施策名		6:利便性の高い交通基盤を整える					
	基本事業名		1.2:幹線道路の整備、生活道路の整備					
予算科目	会計	一般	款	項	目	事業名	法令根拠	
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度			
			(開始年度 不明 年度 ~)		(年度 ~ 年度)			
事業概要								
[全体概要]				[業務内容]				
市道の新設や歩道の設置、または市道の拡幅のために用地を取得する。				地権者との交渉、取得する用地に係る物件の移転補償費の調査。取得した用地の分筆登記、所有権移転登記を行う。				
1 現状把握の部(DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)						
1. 地権者		地権者数	人	44	104	80	80	
2. 土地(用地)		土地面積	m ²	8,567	44,229	15,000	15,000	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
24年度実績		対象地内の補償物件調査		件	38	90	80	
市道買収17路線(44,229m ²) 1. 用地買収 2. 面積・評価額の確定 3. 売買契約(土地・物件) 4. 登記 5. 補償金の支払い		用地買収説明会		回	0	2	3	
25年度計画		土地所有権移転登記		件	59	139	100	
市道買収11路線(15,000m ²) 1. 用地買収 2. 面積・評価額の確定 3. 売買契約(土地・物件) 4. 登記 5. 補償金の支払い								
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		成果指標(対象における意図された対象の程度)						
道路用地を提供してもらう。		地権者の理解率	%	99	99	100	100	
		事業進捗率	%	57	283	100	100	
		道路舗装率	%	49.43	49.54	49.60	49.70	
		道路改良率	%	22.20	22.71	22.90	23.10	
(2) 投入量の推移								
事業内 財源 費	国庫支出金	千円	69,993	68,717	65,595	70,000	70,000	
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	97,239	100,520	97,775	100,000	100,000	
事業費計(A)		千円	167,232	169,237	163,370	170,000	170,000	
人件費	正規職員	千円	12,200	12,490	14,640	14,640	14,640	
	正規外職員	千円	1,536	0.6人	1,536	0.6人	1,536	
	人件費計(B)	千円	13,736	14,026	16,176	16,176	16,176	
投入量(A)+(B)		千円	180,968	183,263	179,546	186,176	186,176	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
この事務事業を開始したきっかけは何か?		市民・地域からの道路整備要望、市の計画道路整備推進。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		登記事務、測量図作成等が複雑化している。道路整備基準を設け道路整備を進めている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		未改良の市道が多々あるため、地域より道路整備要望が数多くあがっている。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	妥当である 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 用地交渉については、個人情報が多数含まれるため情報の漏えい防止。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなんですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	余地がない 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 用地交渉において地権者の合意を得ることが課題であり、今後も信頼関係を築いていけるように質の高いサービスを提供してい
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	統廃合の余地がない 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 廃止・休止の可能性がない 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 安全で快適な道路環境を市民に提供することが難しくなる。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	事業費の削減余地がない 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 人件費の削減余地がない 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費の大半は用地取得費と損失補償費であり、これらは積算基準に基づくものであるため事業費の削減は難しい。 人件費についても、用地交渉・登記事務等専門性、特殊性があるため難しい。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	適正である 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 不特定多数の人が道路を利用するため、受益者を限定することはできない。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入)																						
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 28 日	点検日	平成 年 月 日
事務事業名	未登記道路整理事業			区分コード	3			
担当課G等	建設部	土木課	用地室用地G	記入者氏名	萩野谷 真			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	2 安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業			
	施策名	6 利便性の高い交通基盤を整える						
	基本事業名	2 生活道路の整備						
予算科目	会計	一般	款 7 項 1 目 1	事業名	未登記道路整理事業	法令根拠		
事業期間	単年度のみ		単年度繰返	期間限定複数年度		(22 年度 ~ 27 年度)		
事業概要 [全体概要] 旧瓜連町で道路用地として取得した土地で、未登記になっているものを登記する。 [業務内容] 未登記となっている土地を公図に基づき復元測量を行い、地権者及び隣接地権者立会いのもと境界確認を実施、登記申請に必要な書類を集め、地権者の承認を得て分筆登記後、所有権を那珂市に変更する。								
1 現状把握の部(DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 土地(未登記)		対象指標(対象の大きさを表す指標)						
		未登記数	筆	26	4	3	3	
		地権者	人	19	3	3	3	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順) 24年度実績 平成22年度に立会い不調に終わった筆を、再度隣接地を含めて測量実施、境界が不調であった2筆を含め平成24年度までに測量を終え、登記申請要件を満たした筆を登記した。 25年度計画 平成25年は当初処理困難案件として計上した104筆について、相続調査をすすめ処理の見通しがついた筆から測量委託をし登記申請を行う。		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
		境界確認作業	筆	26	12	3	3	
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 取得済で未登記となっている道路用地を分筆し、所有権の移転登記を行っていく。		成果指標(対象における意図された対象の程度)						
		土地所有権移転登記数	筆	2	30	3	6	
		登記完了率(82筆中)	%	60	96			
		登記完了率(104筆中)	%			3	6	
						9	9	
(2) 投入量の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	
事業内 財源内 財源	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,964	914	1,000	1,000	1,000	
事業費計(A)		千円	1,964	914	1,000	1,000	1,000	
人件費	正規職員	千円	6,020	4,775	3,760	3,760	3,760	
	正規外職員	千円	1,024	1,024	1,024	1,024	1,024	
	人件費計(B)	千円	7,044	5,799	4,784	4,784	4,784	
投入量(A)+(B)		千円	9,008	6,713	5,784	5,784	5,784	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
この事務事業を開始したきっかけは何か?		旧瓜連町で道路用地として購入し、未登記のまま残っている用地を登記する必要があった。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		平成22年度から3ヵ年計画で取り組み始めたが、この間にも所有者が亡くなるなど、相続が発生しており相続人も増えている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		現地と公図との合致した登記が不可欠となるが、未相続や境界不同意等の不可事項がなければ早期に未登記を解消して欲しいとの声がある。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価)	終了	(予算への反映)
		廃止	
		休止	削減 (事業費 千円)
		見直し	(人件費 千円)
		現状維持	増加 (事業費 1,000 千円)
			(人件費 千円)
			反映なし
		当初、未登記道路整理事業については、平成22年度から24年度までの3ヶ年計画で登記可能であると判断された81筆の処理を行うことで事業化された。平成25年以降については、当初処理困難とされた104筆を登記可能か判断し、可能な案件については、測量委託により登記を行うため引き続き事業を継続するものとした。	

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由はなんですか？	妥当である 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 本来は用地取得後に速やかに行政が登記を行う必要があったが、未相続や個人抵当が残っていたなどの理由で未登記となってしまった案件なので、可能な限り登記をしていかなければならない。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があった理由は何ですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	余地がない 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 未登記となっている土地は過去に個人から市へ売却した用地なので、名義人となっている地権者から登記に関して同意を得られないことはない。ただし、現地測量により隣接地との境界に疑義が生じた場合や未相続により、登記が困難な案件も存在する。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	統廃合の余地がない 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 廃止・休止の可能性がない 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成25年度事業からは、当初困難案件とした104筆のなかで登記申請の可否を判断しながら、可能なものについては積極的に登記をしていく。未相続案件については、時間が経つにつれて難しくなってしまうため、早めに相続関係人や納税義務者に相続のお願いをしていくことが必要となっていく。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	事業費の削減余地がない 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 人件費の削減余地がない 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 登記申請が可能となった案件については、申請の難易度により専門知識をもった登記嘱託員の協力を仰ぐ、申請に必要な書類や説明に関しては、管理職で構成されている未登記推進員に極力対応をお願いすることで、職員の時間外手当を削減する。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	適正である 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 本来であれば、道路用地として売買契約後速やかに分筆、所有権移転登記をすべきであったが、未相続や境界問題で未登記として残ってしまった案件であるため、行政が責任を持ってその解消に努めていく必要がある。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性)	担当課長、グループ長、担当者が記載																							
終了 継続 → 廃止 見直し (改革・改善) → 休止 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	目的の再設定 公平性の改善 有効性の改善 統廃合 効率性の改善																							
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 当初、未相続等の理由により登記困難とされた104筆は、時間経過により相続が難しくなってしまうことから、1筆ごとに相続調査を行いその資料をもとに、相続人に相続関係を説明、あらためて相続のお願いをする。そのうえで、相続可能又は完了した筆については、引き続き測量委託を行い登記可能となった案件の処理を行う。																								
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性 (改革・改善策))	担当部長が記載																							
終了 継続 → 廃止 見直し (改革・改善) → 休止 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	目的の再設定 公平性の改善 有効性の改善 統廃合 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方 (1次評価と同じの場合も記入) 当初より未相続等の理由により、登記困難であった104筆の個票を作成し、相続可能又は完了した筆について、分筆及び所有権移転登記を引き続き進めていく。																								
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
廃止 休止 継続 (見直し 現状維持)																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日 平成 25 年 5 月 1 日 点検日 平成			
事務事業名	都市計画見直し事業			区分コード	12			
担当課G等	建設部	都市計画課	都市計画G	記入者氏名	秋山光広			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)		2:安全で快適な住みよいまちづくり					
	施策名		7:調和の取れた土地利用を図る					
	基本事業名		1:土地利用の適正化					
予算科目	会計	一般	款 7 項 3 目 1	事業名	都市計画見直し事業			
事業期間	単年度のみ		単年度繰返	期間限定複数年度	(H19 年度 ~ H27 年度)			
事業概要								
[全体概要]			[業務内容]					
都市計画決定後における土地利用の状況を把握し、適切な用途地域及び都市施設(道路)の配置等を検討すると共に、都市づくりの将来ビジョンを確立する。			都市計画見直し及び都市計画決定手続き業務					
1 現状把握の部(DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)						
用途変更箇所・都市計画道路変更路線及び同関係地権者		用途変更箇所数(面積)	ha		53.1ha	50ha	50ha	
		都市計画道路変更路線数(延長)	m	300m	110m			
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
24年度実績 都市計画変更 都市計画決定の整備方針の検討		説明会の開催数	回	1回	3回	2回	1回	
25年度計画 都市計画変更・変更 都市計画に関するデータ及び運用の分析整理								
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		成果指標(対象における意図された対象の程度)						
都市計画決定・変更について理解をして頂く 土地利用の訂正化を図り、良好な市街地の形成		用途変更箇所数(面積)	ha		53.1ha	50ha	50ha	
		都市計画道路(街区)変更路線(延長)	m	300m	110m			
		都市計画法に基づく勧告数	件数	0件	0件	0件	0件	
(2) 投入量の推移								
事業内訳	財源内訳	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	全体計画
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
一般財源	千円	1,000	840	1,500	1,500	1,500	1,500	
事業費計(A)	千円	1,000	840	1,500	1,500	1,500	1,500	
人件費	千円	4,429	5,320	5,320	5,320	5,320	5,320	
正規外職員	人	0.7人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	
人件費計(B)	千円	4,429	5,320	5,320	5,320	5,320	5,320	
投入量(A)+(B)	千円	5,429	6,160	6,820	6,820	6,820	6,820	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
この事務事業を開始したきっかけは何か?		都市施設整備に整合した土地利用の多様化のための用途地域の変更と、必要性等について検証し、土地利用規制を図る。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		都市計画の決定・変更により、適切な土地利用が図られる。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		土地利用の有効活用及び現況に見合った、区域区分・用途地域の明確化						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なのですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由はなぜですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 区域区分・用途地域の指定及び都市施設の決定・変更は行政が行うものである。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなぜですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 関係地権者の理解を得るためには、現状の説明会による方法が効果的であり、これ以上の成果の向上余地はない。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事務事業はない。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は、政策的に関係機関との協議に技術を要しコンサルの活用が不可欠である。 人件費は、手続き事務に時間がかかるため不可能である。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 市街化区域内の土地利用のためであり、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																										
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)		改革・改善による期待成果																								
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																										
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入)																										
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																										

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 10 日	点検日	平成 年 月 日				
事務事業名	上菅谷駅前地区土地区画整理事業			区分コード	6							
担当課G等	建設部	都市計画課	都市計画G	記入者氏名	綿引 勝也							
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	2 安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業							
	施策名	8 魅力ある市街地を形成する										
	基本事業名	1 市街地の整備										
予算科目	会計	上菅谷駅前地区土地区画 整理事業特別会計	款	2	項	1	目	1	事業名	区画整理事業費	法令根拠	都市計画法、区画整理法
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度			(開始年度 年度 ~)		(H14 年度 ~ H26 年度)		
事業概要 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>[全体概要] 本事業は、JR上菅谷駅を中心とした約5.9haの土地区画整理事業である。本事業の実施により、上菅谷周辺の都市基盤(上菅谷停車場線・上菅谷下菅谷線・駅前広場・公園等)の強化を図り、住居と商業が連携し、市の核となる中心市街地の形成を図るものである。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>[業務内容] 建物等の移転を行い道路改良舗装工事や宅地造成工事を行う。</p> </div> </div>												
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)					
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 地区内の住民、世帯			対象指標(対象の大きさを表す指標)									
			地区内の世帯数	世帯	66	66	69	72				
商業事業者			地区内の事業者数	件	16	16	17	18				
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)			活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
24年度実績			建物等移転件数	件	0	2	1	1				
道路改良工事			道路整備延長	m	72	30	0	50				
宅地造成工事			宅地造成面積	m ²	1,684	419	514	737				
25年度計画			建物等移転									
宅地造成工事												
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			成果指標(対象における意図された対象の程度)									
生活の利便性を高めてもらう。			地区内の人口	人	235	235	245	256				
近隣商業の活性化			地区内の世帯数	世帯	66	66	69	72				
公共交通の利便性向上			区画整理事業整備率	%	77	79	82	85				
(2) 投入量の推移												
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	全体計画				
事業内 財源 費	国庫支出金	千円	7,810					509,400				
	県支出金	千円						257,270				
	地方債	千円			37,800	10,800		909,000				
	その他	千円	1	6	4	4		1,500				
	一般財源	千円	43,154	103,139	125,196	110,730		1,486,830				
事業費計(A)		千円	50,965	103,145	163,000	121,534	0	3,164,000				
人件 費	正規職員	千円	5,029	0.8人	5,891	1.14人	5,891	1.14人			123,000	人
	正規外職員	千円									3,000	人
	人件費計(B)	千円	5,029	5,891	5,891	5,891	0	126,000				
投入量(A)+(B)		千円	55,994	109,036	168,891	127,425	0	3,290,000				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
この事務事業を開始したきっかけは何か?			上菅谷下菅谷線(県施行)の事業着手に合わせた上菅谷停車場線と駅前広場の整備を図るため。									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?			地価の下落とともに財政状況は厳しくなり住民の考え方も変化しつつある。									
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?			上菅谷駅舎の改修により地域活性化につながると期待がある。									

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み													
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr><th colspan="2">(予算への反映)</th></tr> <tr><td>削減</td><td>(事業費 千円)</td></tr> <tr><td></td><td>(人件費 千円)</td></tr> <tr><td>増加</td><td>(事業費 59,855 千円)</td></tr> <tr><td></td><td>(人件費 千円)</td></tr> <tr><td></td><td>反映なし</td></tr> </table>	(予算への反映)		削減	(事業費 千円)		(人件費 千円)	増加	(事業費 59,855 千円)		(人件費 千円)		反映なし
(予算への反映)													
削減	(事業費 千円)												
	(人件費 千円)												
増加	(事業費 59,855 千円)												
	(人件費 千円)												
	反映なし												
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持													

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なのですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 市街地の中でも最も重要な交通結節点であり、本市の顔となる地区の生活基盤整備のため。
有効性評価 成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなんですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 区画整理事業による基盤整備に留まらず、街づくり活動を充実させることによって、潤いのある住環境の形成を図ることとしており、これ以上の成果の向上余地はない。
有効性評価 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 市街地において拠点としての機能を担う地区であり類似事業はない。また、事業は約8割が完了しており廃止も考えられない。
効率性評価 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 現在の事業が標準的な整備であり、必要最小限の整備であり事業費の削減余地はない。
公平性評価 受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市街化区域内の土地利用のためであり、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																														
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 </td> <td style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) </td> <td style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) </td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">→</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">(</td> <td style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 </td> <td style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 </td> <td style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 効率性の改善 </td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">)</td> </tr> </table> <p>改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)</p> <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	→	(<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> 効率性の改善)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	→	(<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> 効率性の改善)																						
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
	低下																													
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																														
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 </td> <td style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) </td> <td style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) </td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">→</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">(</td> <td style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 </td> <td style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 </td> <td style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 効率性の改善 </td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">)</td> </tr> </table> <p>担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入)</p>	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	→	(<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> 効率性の改善)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	→	(<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> 効率性の改善)																						
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																														
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																														

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 30 日	点検日	平成 年 月 日				
事務事業名	下菅谷地区まちづくり事業			区分コード	6							
担当課G等	建設部	都市計画課	都市整備G	記入者氏名	海野英樹							
総合計画体系	施策の大綱(政策名)		2!安全で快適な住みよいまちづくり		実施計画対象事業							
	施策名		8!魅力ある市街地を形成する									
	基本事業名		1!快適な市街地の整備									
予算科目	会計	一般	款	7	項	3	目	3	事業名	下菅谷地区まちづくり事業	法令根拠	
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度			(開始年度 年度 ~)	(H24 年度 ~ H28 年度)			
事業概要 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>[全体概要] 災害時避難路に通じる生活道路の整備と防災・救助活動拠点となる公園・広場の整備。 市街地内の拠点となる施設への回遊性を高めるため、幹線道路及び拠点施設周辺の歩道空間の整備。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>[業務内容] 下菅谷停車場線 L=640m, W=16m 街区道路 L=180m, W=6m 下菅谷3号線 L=260m, W=6m 流末排水 L=110m, W=6m</p> </div> </div>												
1 現状把握の部 (DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)					
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			対象指標(対象の大きさを表す指標)									
道路			計画延長	m	370	1,190	1,190	1,190	1,190			
			道路用地面積	m ²	824	7,530	7,530	7,530	7,530			
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)			活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
24年度実績			用地買収面積	m ²	824	0	2,350	2,876	1,480			
道路測量設計委託			工事延長	m	0	0	370	370	270			
道路用地買収、物件移転補償												
道路改良工事												
25年度計画												
道路測量設計委託												
道路用地買収、物件移転補償												
道路改良工事												
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			成果指標(対象における意図された対象の程度)									
用地買収を進める			用地買収進捗率	%	11	11	42	80	100			
道路改良工事を進める			道路整備進捗率(整備済延長/計画延長)	%	0	0	31	62	85			
魅力ある市街地を形成する			市街地内の歩道整備延長	m	9,245	9,245	9,245	9,710	9,710			
			市街地内で「安全な生活が送れている」と感じる住民の割合	%	67.1	-	-	70	70			
(2) 投入量の推移												
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	全体計画				
事業内訳	財源	国庫支出金	千円	11,033	5,036	33,900	40,400	99,200	212,369			
	費	県支出金	千円									
		地方債	千円	11,800					11,800			
		その他	千円									
		一般財源	千円	2,075	39,273	78,800	56,900	145,100	357,650			
		事業費計(A)	千円	24,908	44,309	112,700	97,300	244,300	581,819			
人件費	正規職員	千円	4,780	0.9人	4,731	0.94人	4,731	0.94人	4,731	0.94人		
	正規外職員	千円										
	人件費計(B)	千円	4,780	4,731	4,731	4,731	4,731	0				
投入量(A)+(B)		千円	29,688	49,040	117,431	102,031	249,031	581,819				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
この事務事業を開始したきっかけは何か？			区画整理事業で整備する予定であったが、地元住民が主体となりまちづくり協議会を設立し、地区計画の策定とまちづくりを開始した。									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか？			道路・下水道の整備が進んだことにより、土地利用が進んでいる。									
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？			道路・下水道の早期整備が望まれている。									

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 68,391 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	公共関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会基盤整備は快適な社会生活をおくるために必要である。
有効性評価 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由は何ですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成23年度に菅谷地区都市再生整備計画を策定し、事業の最適化を図っているため、これ以上の成果の向上余地はない。
効率性評価 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	類似事業との統廃合余地 <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 区画整理事業を見直したことにより、市街化区域であるが社会基盤の整備が遅れている地区であり、これ以上整備を遅らせることはできない。
公平性評価 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	事業費や人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成23年度に菅谷地区都市再生整備計画を策定し、事業費の最適化を図っているため、これ以上の事業費の削減はできない。また、人件費についても、用地買収のため地権者と交渉等の業務であり、削減はできない。
	受益者負担の適正余地 <input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 道路は不特定多数の人が利用するものであるため適正である。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善) → <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																		
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性 (改革・改善策)) 担当部長が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善) → <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
担当部長としての意見・考え方 (1次評価と同じの場合も記入)																					
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																					

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 10 日	点検日	平成 年 月 日		
事務事業名	上菅谷駅前地区まちづくり事業			区分コード	6					
担当課G等	建設部	都市計画課	都市計画G	記入者氏名	綿引 勝也					
総合計画体系	施策の大綱(政策名)		2 安全で快適な住みよいまちづくり		実施計画 対象事業					
	施策名		8 魅力ある市街地を形成する							
	基本事業名		1 市街地の整備							
予算科目	会計	一般	款	項	目	事業名	法令根拠			
			7	3	3	上菅谷駅前地区まちづくり事業	都市計画法			
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度					
			(開始年度 年度 ~)		(14 年度 ~ 26 年度)					
事業概要										
[全体概要] 上菅谷駅前地区土地区画整理事業(A=5.9ha)の実施に伴い、関連公共施設(街区公園、緑地、駐車場、公共下水道、雨水排水施設等)の整備を行う。 地区の活性化のため街づくり協議会を設立し、地区住民と協働で街づくり活動を推進する。				[業務内容] 区画整理関連施設工事や街区公園等の工事及び街づくり協議会活動支援を行なう。 公園面積=1,800㎡、緑地面積=625㎡、公共下水道 L=1,592m						
1 現状把握の部(DOシート)										
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移			単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (計画)	27年度 (計画)		
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 地区内の住民、世帯			対象指標(対象の大きさを表す指標)							
			地区内の世帯数	世帯	66	66	69	72		
手段(具体的な事務事業のやり方、手順) 24年度実績 区画整理関連公共施設(公共下水道工事・環境整備)工事 市管理地除草、街づくり協議会活動支援 25年度計画 区画整理関連公共施設(公共下水道工事等)工事 街づくり協議会活動支援			活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
			公共下水道工事延長	m	31	15	0	30		
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 協働の街づくりを意識づける 公共下水道の整備			成果指標(対象における意図された対象の程度)							
			協議会参加者数	人	36	36	40	44		
			まちづくりに参加する割合							
			%	13.6	13.2	14.4	15.2			
			進捗率							
			%	77	79	82	85			
(2) 投入量の推移			単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	全体計画	
事業内 財源 内 財源	国庫支出金	千円				112,500				
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	6,487	20,516	41,300	3,800				
事業費計(A)		千円	6,487	20,516	153,800	3,800	0	0		
人件費	正規職員	千円	4,800	1,00	5,891	1,14	5,891	1,14	人	人
	正規外職員	千円							人	人
人件費計(B)		千円	4,800	5,891	5,891	5,891	0	0		
投入量(A)+(B)		千円	11,287	26,407	159,691	9,691	0	0		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
この事務事業を開始したきっかけは何か?			上菅谷駅前地区土地区画整理事業の着手に伴う公共施設整備と地区活性化のため。							
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?			事業が終息に近い為、身近な環境への関心が強く街づくり活動への意識が薄くなっている。							
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?			駅舎の改修等の要望有							

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 アンケートを行い地域の問題点、要望等の調査を実施した。	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費 133,284 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なのですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由はなぜですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 生活基盤の整備が目的なので、市が行う必要がある。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなぜですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 街づくり活動を充実させることによって、潤いのある住環境の形成を図ることとしており、これ以上の成果の向上余地はない。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 市街地において拠点としての機能を担う地区のためであり、ひとつの地区を限定した事業の為統廃合の余地はない。 また、事業も終息に近い為廃止できない。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 現在の事業が標準的な整備であり必要最小限の整備であり事業費の削減余地はない。 他の関連事業を含めて5名で対応しており人件費の削減余地はない。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 市街化区域内の土地利用のためであり、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																										
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的な内容 (改革案・実行計画)		改革・改善による期待成果																								
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性 (改革・改善策)) 担当部長が記載																										
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方 (1次評価と同じの場合も記入)																										
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																										

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 27 日	点検日	平成 年 月 日	
事務事業名	菅谷市毛線街路整備事業				区分コード	6			
担当部課G等	建設部	都市計画課	都市整備G	記入者氏名	海野英樹				
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	2:安全で快適な住みよいまちづくり				実施計画 対象事業			
	施策名	6:利便性の高い交通基盤を整える							
	基本事業名	1:幹線道路の整備							
予算科目	会計 一般	款 7	項 3	目 4	事業名	法令根拠	都市計画法、道路法		
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度		(開始年度 年度 ~) (H21 年度 ~ H30 年度)		
事業概要									
[全体概要]				[業務内容]					
那珂市の活性化、交通網の整備、市街地整備等のために、都市計画決定された街路の整備を行う。				都市計画道路整備のため、用地買収および道路工事に、延長 L = 1400m 幅員 W = 16m					
1 現状把握の部 (DOシート)									
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移									
		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (計画)	27年度 (計画)		
対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等			対象指標 (対象の大きさを表す指標)						
都市計画道路 菅谷・市毛線			道路延長	m	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
			道路用地面積	m ²	17,088	17,088	17,088	17,088	17,088
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順)			活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)						
24年度実績			用地買収面積	m ²	2,118	3,717	2,221	1,656	1,205
道路用地買収			改良工事延長	m	0	0	200	400	410
道路改良工事									
25年度計画									
道路用地買収									
道路改良工事									
意図する成果 (この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			成果指標 (対象における意図された対象の程度)						
早期に供用開始する			用地買収進捗率	%	48.5	70.3	83.3	93.0	100
利便性の高い交通基盤を整える			整備済延長	m	0	0	200	600	1010
			日常生活において移動に不便を感じていない市民の割合	%	66.41	57.83	60.00	65.00	70.00
(2) 投入量の推移									
事業費	財源内訳	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	全体計画	
	国庫支出金	千円	18,700	28,600	46,750	60,500	60,500	307,450	
	県支出金	千円							
	地方債	千円	15,300	23,400	38,250	49,500	49,500	251,550	
	その他	千円							
一般財源	千円	10,548	17,362	32,000	41,500	20,500	169,765		
事業費計(A)	千円	44,548	69,362	117,000	151,500	130,500	728,765		
人件費	千円	4,780	4,731	4,731	4,731	4,731	0		
正規職員	人	0.9	0.94	0.94	0.94	0.94			
正規外職員	人								
人件費計(B)	千円	4,780	4,731	4,731	4,731	4,731	0		
投入量(A)+(B)	千円	49,328	74,093	121,731	156,231	135,231	728,765		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
この事務事業を開始したきっかけは何か?			昭和43年に都市計画決定を行った。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?			経済状況が横ばいであり財政状況が厳しくなっているため、予算の確保が難しく、事業の大きな進捗が望めない。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?			早期に完成して欲しいという要望がある。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価)	(取り組み内容)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費 47,638 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価		
目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会基盤整備は快適な社会生活をおくるために必要である。
	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成21年度までに全体計画を策定し、事業の最適化を図っているため、これ以上の成果の向上余地はない。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 業務内容は事業を行うための用地買収・道路工事であるため、廃止・休止はできない。また、街路整備事業については、同じ担当者が行っており、これ以上の統合の余地はない。
	事業費や人件費の削減余地	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成21年度までに全体計画を策定し、事業費の最適化を図っているため、これ以上の事業費の削減はできない。また、人件費についても、用地買収のため地権者と交渉等の業務であり、削減はできない。
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 業務内容は事業を行うための用地買収・道路工事であるため、廃止・休止はできない。また、街路整備事業については、同じ担当者が行っており、これ以上の統合の余地はない。
	事業費や人件費の削減余地	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成21年度までに全体計画を策定し、事業費の最適化を図っているため、これ以上の事業費の削減はできない。また、人件費についても、用地買収のため地権者と交渉等の業務であり、削減はできない。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成21年度までに全体計画を策定し、事業費の最適化を図っているため、これ以上の事業費の削減はできない。また、人件費についても、用地買収のため地権者と交渉等の業務であり、削減はできない。
	受益者負担の適正余地	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 道路は不特定多数の人が利用するものであるから適正である。
公平性 評価	受益者負担の適正余地	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 道路は不特定多数の人が利用するものであるから適正である。
	受益者負担の適正余地	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 道路は不特定多数の人が利用するものであるから適正である。

3 計画の部(PPLAN)																									
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
	<input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																								
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)		改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(3) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
	<input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																								
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入)																									
(4) 3次評価(行政評価本部分会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																									
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 平成31年度以降に予定される新たな都市計画道路の整備は、都市計画道路再検討指針に基づき必要性の検証を行う。事業実施に当たっては、事業説明会を開催するなかで、関係者や地域住民に対し、その事業内容についての理解と協力を求める。事業の実施状況は、平成25年度から、市のホームページ等で広く周知する。																									

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 30 日	点検日	平成 年 月 日
事務事業名	上宿大木内線街路整備事業			区分コード	6			
担当部課G等	建設部	都市計画課	都市整備G	記入者氏名	海野英樹			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	2:安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画対象事業			
	施策名	6:利便性の高い交通基盤を整える						
	基本事業名	1:幹線道路の整備						
予算科目	会計 一般	款 7	項 3	目 4	事業名	法令根拠	都市計画法	
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度			
		(開始年度 年度 ~)		(H22 年度 ~ H30 年度)				
事業概要								
[全体概要]				[業務内容]				
那珂市の活性化、交通網の整備、市街地整備等のために、都市計画決定された街路の整備を行う。				都市計画道路整備のため、用地買収および道路工事に、延長 L = 440 m 幅員 W = 16 m				
1 現状把握の部 (DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	
対象 (誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)						
都市計画道路 上宿・大木内線		道路延長	m	440	440	440	440	
		道路用地面積	m ²	6,784	6,784	6,784	6,784	
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順)		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)						
24年度実績		用地買収面積	m ²	3,048	489	267	134	
道路用地買収		改良工事延長	m	0	0	210	30	
道路改良工事								
25年度計画								
道路用地買収								
道路改良工事								
意図する成果 (この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		成果指標 (対象における意図された対象の程度)						
早期に供用開始する		用地買収進捗率	%	56.8	64.1	68.0	70.0	
利便性の高い交通基盤を整える		整備済延長	m	0	0	210	240	
		日常生活において移動に不便を感じていない市民の割合	%	66.41	57.83	60.00	65.00	
(2) 投入量の推移								
事業費	財源内訳	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	
	国庫支出金	千円	37,400	40,326	23,474	18,700	25,300	
	県支出金	千円						
	地方債	千円	30,600	32,900	19,200	15,300	20,700	
	その他	千円						
一般財源	千円	6,508	14,540	10,326	7,800	13,000		
事業費計 (A)	千円	74,508	87,766	53,000	41,800	59,000		
人員費	千円	4,780	4,731	4,731	4,731	4,731		
正規職員	人	0.9	0.94	0.94	0.94	0.94		
正規外職員	人							
人件費計 (B)	千円	4,780	4,731	4,731	4,731	4,731		
投入量 (A)+(B)	千円	79,288	92,497	57,731	46,531	63,731		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
この事務事業を開始したきっかけは何か?	昭和43年に都市計画決定を行った。							
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?	経済状況が横ばいであり財政状況が厳しくなっているため、予算の確保が難しく、事業の大きな進捗が望めない。							
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?	早期に完成して欲しいという要望がある。							

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価)	(取り組み内容)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 34,766 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価		
目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会基盤整備は快適な社会生活をおくるために必要である。
	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成22年度までに全体計画を策定し、事業の最適化を図っているため、これ以上の成果の向上余地はない。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 業務内容は事業を行うための用地買収・道路工事であるため、廃止・休止はできない。また、街路整備事業については、同じ担当者が行っており、これ以上の統合の余地はない。
	事業費や人件費の削減余地	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成22年度までに全体計画を策定し、事業費の最適化を図っているため、これ以上の事業費の削減はできない。また、人件費についても、用地買収のため地権者と交渉等の業務であり、削減はできない。
有効性 評価	類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？ 事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	
	事業費や人件費の削減余地	
効率性 評価	成果を下げずに事業費を削減できませんか？ 成果を下げずに所要時間を削減できませんか？ 成果を下げずに低賃金の担当で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	
	受益者負担の適正余地	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 道路は不特定多数の人が利用するものであるから適正である。
公平性 評価	受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	

3 計画の部(PPLAN)																									
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
	<input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																								
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)		改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(3) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
	<input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																								
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入)																									
(4) 3次評価(行政評価本部分会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																									
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 平成31年度以降に予定される新たな都市計画道路の整備は、都市計画道路再検討指針に基づき必要性の検証を行う。事業実施に当たっては、事業説明会を開催するなかで、関係者や地域住民に対し、その事業内容についての理解と協力を求める。事業の実施状況は、平成25年度から、市のホームページ等で広く周知する。																									

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 30 日	点検日	平成
事務事業名	公園管理事業			区分コード	3			
担当課G等	建設部	都市計画課	都市整備G	記入者氏名	海野英樹			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	2:安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画対象事業			
	施策名	8:魅力ある市街地を形成する						
	基本事業名	2:公園の適正な管理						
予算科目	会計	一般	款 7 項 3 目 6	事業名	公園管理事業	法令根拠	都市公園法	
事業期間	単年度のみ			単年度繰返	期間限定複数年度	(開始年度 S50 年度 ~) (年度 ~ 年度)		
事業概要								
[全体概要] 公園緑地の管理及び施設の維持補修等				[業務内容] 公園の緑化管理 公園施設の管理				
1 現状把握の部(DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)						
都市公園および開発行為で帰属された緑地		都市公園数	箇所	16	16	16	16	
		その他の公園数	箇所	60	60	61	62	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
24年度実績 公園内の緑化管理、遊具の点検・補修 公園内の放射線の測定		遊具の点検	回	2	2	2	2	
		放射線の測定	回	5	12	12	12	
25年度計画 公園内の緑化管理、遊具の点検・補修 公園内の放射線の測定 市民による公園緑化管理活動の援助		公園管理協定の締結	団体			19	20	
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民が安全・快適に公園を利用できる 災害時の避難場所を確保する		公園面積	m ²	354,163	354,163	354,379	354,595	
		市民一人当たり公園面積	m ² /人	6.33	6.34	6.33	6.37	
(2) 投入量の推移								
事業内 財源内 費	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	28,498	30,040	31,679	31,679	31,679	
事業費計(A)		千円	28,498	30,040	31,679	31,679	31,679	
人件費	正規職員	千円	4,780	4,731	4,731	4,731	4,731	
	正規外職員	千円	0.9人	0.94人	0.94人	0.94人	0.94人	
	人件費計(B)	千円	4,780	4,731	4,731	4,731	4,731	
投入量(A)+(B)		千円	33,278	34,771	36,410	36,410	36,410	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
この事務事業を開始したきっかけは何か?		公園の整備に伴い管理が必要となる。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		公園内の遊具や緑化に対する要求が高くなっている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		遊具の安全管理の徹底、適切な緑化管理、公園内駐車場の適切な管理等を求められている。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 報償金制度の設置	(予算への反映) 削減 (事業費 千円) (人件費 千円) 増加 (事業費 1,639 千円) (人件費 千円) 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なのですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 都市公園は市が設置した公園であり、市が管理を行うべきものである。
有効性評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由は何ですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 予算の範囲で維持管理をおこなうため、これ以上の向上は望めない。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 公園としての機能を維持するため廃止・休止することはできないが、他の類似公園の管理も含めた一元的な管理が効率的であり、統廃合の余地がある。
効率性評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 年々開発行為による緑地を帰属されるため削減できない。
公平性評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 市民が利用するためのものである。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 一元的な管理が効率的であり、方法について検討を進めていく。																								
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入) 市で管理する公園等について、一元的な管理を行う方法についての検討と合わせて、公園等の報償金制度を活用し、地域と一体となった公園管理を行い経費の削減を図る。																								
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 30 日	点検日	平成 年 月 日
事務事業名	菅谷地区まちづくり事業			区分コード	6			
担当課G等	建設部	都市計画課	都市整備G	記入者氏名	海野英樹			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)		2:安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業		
	施策名		8:魅力ある市街地を形成する					
	基本事業名		1:快適な市街地の整備					
予算科目	会計	一般	款	項	目	事業名	法令根拠	都市計画法、地区計画
			7	3	3	菅谷地区まちづくり事業		
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度			
			(開始年度 年度 ~)		(24 年度 ~ 28 年度)			
事業概要								
[全体概要]				[業務内容]				
災害時避難路に通じる生活道路の整備と防災・救助活動拠点となる公園・広場の整備。				道路改良(1470m)				
市街地内の拠点となる施設への回遊性を高めるため、幹線道路及び拠点施設周辺の歩道空間の整備。				宮の池公園施設整備(350㎡)				
				ポケットパーク(330㎡)				
				上下線歩道連続照明(330m)				
1 現状把握の部(DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			対象指標(対象の大きさを表す指標)					
道路・公園			道路・照明延長	m	1,800	1,800	1,800	1,800
			公園面積	㎡	680	680	680	680
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)			活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
24年度実績			道路・照明工事延長	m	330	635	455	380
道路測量設計委託								
宮の池公園整備、連続照明整備			公園整備面積	㎡	350	0	0	0
道路舗装工事								
25年度計画								
道路測量設計委託								
道路用地買収、物件移転補償								
道路改良工事								
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			成果指標(対象における意図された対象の程度)					
用地買収を進める			整備済道路・照明延長	m	330	965	1,420	1,800
道路改良工事を進める			公園整備済面積	㎡	350	350	350	350
魅力ある市街地を形成する			市街地内の歩道整備延長	m	9,245	9,245	9,710	9,710
			市街地内で「安全な生活が送れている」と感じる住民の割合	%	67.1	-	70	70
(2) 投入量の推移								
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	全体計画
事業内 財源 費	国庫支出金	千円		32,962	32,360	19,000	14,000	100,322
	県支出金	千円						
	地方債	千円		0				
	その他	千円						
	一般財源	千円		1,840	69,840	21,300	15,300	111,580
事業費計(A)		千円	0	34,802	102,200	40,300	29,300	211,902
人件費	正規職員	千円	人	4,731	0.94	4,731	0.94	人
	正規外職員	千円	人					人
	人件費計(B)	千円	0	4,731	4,731	4,731	4,731	0
投入量(A)+(B)		千円	0	39,533	106,931	45,031	34,031	211,902
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
この事務事業を開始したきっかけは何か?			杉原地区まちづくり事業がH23年度で終了したが、市街化区域の道路が未整備となっているところが多くある。					
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?			平成24年度から国の補助金により整備を進めている。					
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?			道路だけでなく社会基盤の整備が望まれている					

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 67,398 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	公共関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会基盤整備は快適な社会生活をおくるために必要である。
有効性評価 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由は何ですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成23年度に菅谷地区都市再生整備計画を策定し、事業の最適化を図っているため、これ以上の成果の向上余地はない。
効率性評価 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	類似事業との統廃合余地 <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 市街化区域であるが社会基盤の整備が遅れているため、廃止・休止はできない。
効率性評価 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	事業費や人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成23年度に菅谷地区都市再生整備計画を策定し、事業費の最適化を図っているため、これ以上の事業費の削減はできない。また、人件費についても、用地買収のため地権者と交渉等の業務であり、削減はできない。
公平性評価 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	受益者負担の適正余地 <input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 道路・公園は不特定多数の人が利用するものであるため適正である。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画)																						
改革・改善による期待成果																						
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性 (改革・改善策)) 担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
担当部長としての意見・考え方 (1次評価と同じの場合も記入)																						
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 21 日	点検日	平成
事務事業名	市営住宅管理事業			区分コード	4			
担当課等	建設部	建築課	住宅・営繕グループ	記入者氏名	松本 啓二			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)			3:健やかで生きがいをもって暮らせるまちづくり				
	施策名			1:家庭や地域で支えあう福祉環境を整える				
	基本事業名			2:低所得者世帯への支援				
予算科目	会計	一般	款 7 項 4 目 1	事業名	法令根拠	公営住宅法		
事業期間	単年度のみ			単年度繰返	期間限定複数年度			
		(開始年度 S24 年度 ~)				(年度 ~ 年度)		
事業概要								
[全体概要]				[業務内容]				
所得が少ないなどの理由により民間アパートへの入居が困難な者に対して市営住宅を安い家賃で賃貸するため、市営住宅を適正に維持管理する。				・使用料(家賃)の決定、徴収 ・市営住宅の施設及び設備の維持補修 ・住宅の入退居に伴う事務				
1 現状把握の部(DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市営住宅施設		市営住宅管理戸数	戸	280	280	280	280	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
24年度実績		市営住宅使用料	千円	77,766	80,504	74,916	74,916	
使用料(家賃)の決定・徴収、施設設備の維持補修、入退去に伴う事務など								
25年度計画								
上記に加え、老朽化住宅の簡易耐震診断と今後のあり方検討を実施する								
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		成果指標(対象における意図された対象の程度)						
安心して快適な生活を営んでもらえる施設にする		市営住宅の修繕件数	件	80	72	80	80	
		入居率	%	99	97	99	99	
(2) 投入量の推移								
事業内訳	財源内訳	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	全体計画
	国庫支出金	千円						
	県支支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
一般財源	千円	18,751	21,304	21,485	20,360	20,360		
事業費計(A)	千円	18,751	21,304	21,485	20,360	20,360	0	
人件費	千円	4,740	5,970	8,280	7,580	7,580		
正規職員	人	1.0	1.3	1.7	1.6	1.6		
正規外職員	人							
人件費計(B)	千円	4,740	5,970	8,280	7,580	7,580	0	
投入量(A)+(B)	千円	23,491	27,274	29,765	27,940	27,940	0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
この事務事業を開始したきっかけは何か?		戦後の住宅不足を解消し、低所得者・住宅困窮者の安定した生活を支援するために、昭和24年に公営住宅を設置したことによる。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		・社会情勢の変化や高齢化の進展に伴い住宅困窮者が増加する一方で、民間アパートの空き部屋数は増加しており、公営住宅以外の支援策が検討されてきている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		・住宅困窮者(生活保護世帯、母子家庭、障害者、独居老人等)からは、優先入居の要望がある。 ・財政状況が厳しいなかで、安易に市営住宅を増やすべきではないとの意見がある。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) (取り組み内容) 終了 廃止 休止 見直し 現状維持 ・全庁的な方針に基づき借地料の見直しを行い、地権者との協議により変更契約を締結した。 ・老朽化住宅の管理方針検討については、平成25年度に実施予定。	(予算への反映) 削減 (事業費 562 千円) (人件費 千円) 増加 (事業費 千円) (人件費 千円) 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	妥当である 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) ・所得が少ないなどの理由により民間アパートに入居できない者に、安い家賃で提供するのが公営住宅であり、那珂市の市営住宅を自らが管理するのは妥当である。
有効性評価 成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなんですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	余地がない 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 入居率はほぼ100%であり向上余地はないが、老朽化住宅の今後の管理方針を検討し、用途廃止や大規模修繕を進めることで修繕件数は減少する余地がある。
有効性評価 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	統廃合の余地がない 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 廃止・休止の可能性がない 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) ・類似事業は無く統廃合の余地はない。 ・入居者の中には、市営住宅以外に入居不可能な低所得者も多く、現時点において廃止・休止は難しい。
効率性評価 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	事業費の削減余地がない 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 人件費の削減余地がない 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) ・借地料の見直しは実施済みであり、次回は平成27年度に見直し予定である。 ・不況などの影響による使用料(家賃)滞納の増加、経年劣化や震災の影響による修繕箇所の増加など、事務量の増大が見込まれるため人件費の削減は難しい。
公平性評価 受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	適正である 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 市営住宅の入居者からは、法律に基づいた使用料(家賃、駐車場代、共益費)を徴収している。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 建築後40年程度が経過し老朽化した住宅(旧耐震基準で建てられた82戸)について、木造住宅を中心に簡易的な耐震診断を実施し、今後の管理方針(建替え、大規模修繕、用途廃止など)を検討する。																								
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入) 高齢化社会により老朽化した住宅については、必要があることから今後の管理方針(建替え、大規模修繕、用途廃止など)を検討する。																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								